第4回計画検討部会資料		
令和 2 年10月 5 日	資料 2	

けいかくそあんしゅうせいかしょ いちらん計画素案修正箇所(一覧)

しゅうせいか しょ 修 正 箇 所	しゅうせいまえ 修正前	しゅうせいご 修正後	が とう 備考
L 世 つ にゅうしょしゃちょうさ 施設入所者調査	本人の地域生活を支える環境面においては、夜間や緊急時の支援		
表タイトル部分	に不安を感じているほか、一度退所すると再入所できないのでは	に不安を感じているほか、一度退所すると再入所できないのでは	原田委員意見
26ページ	ないかということに不安を感じている方が多く、これらが退所に	ないかということに不安を感じている方が多く、これらが退所に	
	向けた問題点となっていることがうかがえます。	向けた課題となっていることがうかがえます。	
	退所に向けての地域の問題点	地域生活を支える 周 辺環 境	
	退所に向けてのご本人の問題点	本人の状態像	
成果目標③	<札幌市の第5期計画の目標と進捗状況>	<札幌市の第5期計画の目標と進捗状況>	2019年度実績
札幌市の第5期計画の	2020年度において、福祉施設の利用者のうち一般就労への	2020年度において、福祉施設の利用者のうち一般就労への	(北海道調べ)
もくひょう しんちょくじょうきょう 目標と進捗状況	移行者数を、2016年度の移行実績444人の 1.5倍(666人)とする	移行者数を、2016年度の移行実績444人の 1.5倍(666人)とする	による更新
36~ − ÿ	ことを曽指しました。(国の基本指針と同じ 1.5倍)。	ことを目指しました。(国の基本指針と同じ 1.5倍)。	
	a んどまつ もくひょう ねん がつ にちょてん じっせき しんちょくりつ 2020年度末までの目標 2019年3月31日時点の実績/進捗率	ねんどまっ もくひょう ねん がっ にちじてん じっせき しんちょくりっ 2020年度末までの目標 2020年3月31日時点の実績/進捗率	
	にん 666人 585人 / 87.8 %	666人 621人 / 93.2 %	
せいかもくひょう 成果目標③	・2023年度において、福祉施設の利用者のうち一般就労への移行	・2023年度において、福祉施設の利用者のうち一般就労への移行	
まっぽろし だい き けいかく 札幌市の第6期計画の	ときまう ねんど いこうじっせき みこ と	Lesting	
もくひょう 目 標	とすることを目指します。	ことを目指します。	
37ページ	・2023年度において、就労移行支援の利用者のうち一般就労へ	・2023年度において、就労移行支援の利用者のうち一般就労へ	
	の移行者数を 2019年度の <u>移行実績(見込み)324人の 1.05倍</u>	の移行者数を 2019年度の移行実績424人の 0.91倍(390人)と	
	<u>(341人)</u> とすることを曽指します。(新規)	することを曽指します。(新規)	
	・2023年度において、就労継続支援A型の利用者のうち一般就労	・2023年度において、就労継続支援A型の利用者のうち一般就労	
	への移行者数を、2019年度の <u>移行実績(見込み)87人の1.10倍</u>	への移行者数を、2019年度の <mark>移行実績87人の1.15倍(100人</mark>)	
	(95人) とすることを曽指します。(新規)	とすることを曽指します。(新規)	
	・2023年度において、就労継続支援B型の利用者のうち一般就労	・2023年度において、就労継続支援B型の利用者のうち一般就労	
	への移行者数を、2019年度の <u>移行実績(見込み)94人の 1.36</u> 倍	への移行者数を、2019年度の移行実績110人の 1.27倍(140人)	
	$(128 \stackrel{\iota^{\wedge}}{\stackrel{\wedge}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}}{\stackrel{\wedge}{\stackrel{\wedge}{\stackrel{\wedge}}{$	とすることを曽指します。(新規)	
	はせんぶ ねんどじっせき ほっかいどうしら しゅうけいご こうしんよてい		
せい か もくひょう _	*波線部は2019年度実績(北海道調べ)集計後に更新予定	ねんど かくさーびすりようしゃすう し いっぱんしゅうろう	
tu か もくひょう 成果目標③ もくひょうせってい かんが かた	2016~2018年度の各サービス利用者数に占める一般就労		
もくひょうせってい かんが かた 目標設定の考え方 ベー じ	いこうしゃすう きんしゅつ ねんへいきんしゅうろう いこうりっ こん ご つづ み こ 移行者数から算出した年平均就労移行率が今後も続くと見込 ねんど さーびすりょうしゃすう ねんへいきんしゅうろういこうりつ	おたしゅう きんしゅつ ねんへいきんしゅう ろう いこうりっ こん ご つづ み こ 移行者数から算出した年平均就労移行率が今後も続くと見込 ねんと さー び まりょうしゃまう ねんへいきんしゅうろういこうりつ	
37ページ	み、2019~2023年度のサービス利用者数に年平均就労移行率を じょう ま - び す いっぱんしゅうろういこうしゃすう すいけい		
	乗じ、サービスごとの一般就労移行者数を推計しました。	乗じ、サービスごとの一般就労移行者数を推計しました。	

しゅうせいか しょ 修 正 箇 所	しゅうせいまえ 修正前	しゅうせいご 修正後	びごう 備考
障がい児支援	障がいのある子どもの発達を支援するため、児童福祉法に基づく	障がいのある子どもの発達を支援するため、児童福祉法に基づく	第2回検討部会
サービス	障がい児支援を充実させていきます。	障がい児支援を充実させていきます。	北川委員意見
53ページ		また、児童発達支援センターを地域における中核的支援施設とし	
		ながら、関係機関連携のもと、一人ひとりの障がいの状況に応	
		じた適切な支援の実施を図るとともに、重層的な支援体制づくり	
		を進めていきます。	
[4]成年後見制度利用	[4]成年後見制度利用支援事業	[4] 成年後見制度利用支援事業	第3回検討部会
しぇんじぎょう 支援事業	成年後見制度の利用が必要と認められ、本人や親族等による申	成年後見制度の利用が必要と認められ、本人や親族等による申	煮川委員意見
66~ - ÿ	立てが期待できない知的障がいのある方、精神障がいのある方	立てが期待できない知的障がいのある方、精神障がいのある方	
	について、市長が申立てを行い、費用を負担して成年後見制度	について、市長が申立てを行い、費用を負担して成年後見制度	
	の利用を支援します。	の利用を支援します。	
	たんい ねんど ねんど ねんど 単位 2021年度 2022年度 2023年度	たんい ねんど ねんど ねんど ねんど 単位 2021年度 2022年度 2023年度	
	でつりょうにんずう 実利用人数 5 5 5	じつりょうにんずう 16 16 実利用人数 16 16	
11 その他の社会参加		によう 障がいのある方の社会参加において就労は重要な要素のひと	第3回検討部会
た係る支援		つであり、障がいのある方の雇用促進や職場定着に向けた支援	しげいずみぃぃんぃゖん 重泉委員意見
76ページ		が必要です。	
	□ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c	また、障がいのある方の地域における社会参加を促進するため	
	は、	には、多様なニーズを踏まえた支援が必要です。障がいのある	
	供いじゅつ かんしょう きかい そうぞう はっぴょうとう たょう かつどう きんか芸術を鑑賞する機会または創造や発表等の多様な活動に参加	がた ぶんかげいじゅつ かんしょう きかい そうぞう はっぴょうとう たょう 方が、文化芸術を鑑賞する機会または創造や発表等の多様な	
	する機会を創出したり、視覚等に障がいのある方の読書環境の	たっとう きんか きゅい そうしゅっ こかくとう しょう 活動に参加する機会を創出したり、視覚等に障がいのある方の	
整備・充実を図ります。	これでは、		
	■ 障がい者就業・生活相談支援事業		
	障がいのある方の雇用の促進と就労の安定を図るため、就業や		
	日常生活の支援を行うとともに、ハローワーク等の関係機関と		
	連携して「ジョブサポーター」や支援員による雇用促進・職場定着		
		支援を図ります。	
	たんい ねんど 単位 2021年度 2022年度 2023年度		
	程談件数 29,500 29,500 29,500		
	就職に結びついた人数 140 140 140 140 140 140 140 140 140 140		

だい かいけんとうぶ かいいこう あら ついか かしょ 第3回検討部会以降、新たに追加した箇所

追加箇所

だい しょう えすでぃーじーず じぞくかのう かいはつもくひょう かんけいせい 第1章 SDGs(持続可能な開発目標)との関係性

12ページ

だい しょう けいかく すいしんたいせい 第5章 計画の推進体制

79-81ページ

第6章 資料編

81-84ページ